

## ユース政策モニターからの意見募集（結果概要）

**【1. 意見募集実施概要】****（1）対象者、実施期間、総意見数**

○対象：ユース政策モニター

（内閣府において、子供・若者に関する施策をより充実させるとともに、子供・若者の社会参加意識を高めるため、小学校5年生から20代の方々を公募し、政策に対する意見を把握・活用するスキーム内で実施）

○意見募集実施期間：令和4年12月23日（金）～令和5年1月10日（月）

○総意見数：478件

**（2）質問内容**

（質問1）これからの学校教育で大切にすべきことはどんなことだと思いますか。

（質問2）どんな先生に教わりたいですか。

（質問3）学校で幸せを感じるのはどんな時ですか。

**【2. 意見概要】**

（1）（質問1）これからの学校教育で大切にすべきことはどんなことだと思いますか。

**1. 小学生からの主な意見****褒め、自尊心に関する意見**

- ・先生に褒めてもらえること
- ・子供の自尊心を高められる教育

**生徒個々人の尊重に関する意見**

- ・誰にでも先生が平等に接すること。
- ・校則やルールを決める際に、必ず生徒の意見を尊重する。

**いじめに関しての意見**

- ・人の心を知らずに暴言を言う人を少なくしてほしいので、道徳などの心の授業
- ・いじめをなくす

**個々人のペースにあった授業・生活に関する意見**

- ・個人のペースで学ぶこと
- ・一人ひとりにあった勉強や生活
- ・習熟度別クラスにする、勉強が楽しいと感じる授業

- ・特別支援への配慮、配置の拡充

### 生徒の創造性に関する意見

- ・生徒自身が考えて行動できる、発見できるようになる授業
- ・手先を使う、創造力がわく図工の時間
- ・話し合いの授業をたくさんすること。人と意見をぶつけ合い、最終的に問題を解決する力は大事。

### その他

- ・パソコンなど、ネットをうまく使って勉強する。
- ・本離れがあるので、図書館の充実
- ・もっと英語教育に力を入れるべき。

## 2. 中学生からの主な意見

### 生徒個人・多様性の尊重

- ・特別扱いのない公平な扱いを大切にしてほしい
- ・不登校へのサポート
- ・クラスや、性別、年齢といった枠を超えた授業や行事を行い、色々な考えを持った人と関わることができる機会を増やすこと
- ・誰かの居場所であること。

### 自分の頭で考える・生徒の創造性についての意見

- ・テストのための勉強や提出物のための勉強ではなく、自分で考えて行動したり、自分の将来や自分の将来の仕事について、もう少し自分自身で考える授業があってもいいと思う
- ・「自分達で出した問いに自分たちで答える」学校教育を大切にすべき

### 個人個人のペースにあった授業・生活に関する意見

- ・生徒一人ひとりの個性を大切にする
- ・個人差を尊重した多様性のある教育

### 先生に関する意見

- ・先生が明るく面白く楽しく生徒に接する
- ・生徒だけでなく先生も大事にされる空間、先生が言いたいことを言える空間

### 社会との関わりに関する意見

- ・ネットなどでいじめや犯罪に関わらないようにする、性教育
- ・今の地球や社会のことについて生徒一人ひとりが真剣に考えることができる授業
- ・授業中に英語で喋る機会を増やすこと

### 3. 高校生からの主な意見

#### 社会に出てからも必要なことを学ぶことについての意見

- ・将来の選択肢が広がるような色々なことを体験できる場
- ・多様性を認め合いともに生きていけるような能力を身につけること
- ・国の政策が今何をやっているのか、何を自分達は問題だと思うのかを学ぶことで選挙や政治への関心も高まる
- ・経済やお金の増やし方についての勉強

#### 先生の生徒との関わり方についての意見

- ・自分の仕事に誇りを持って、生徒のことを最優先に考えて尽くすことが必要
- ・生徒の自主性を高めるような指導方法
- ・学校の先生の負担軽減に徹底的に取り組むことで、教育の質向上に努めるべき

#### 個人のペースで学べる教育

- ・総合的な成績だけで振り分けるのではなく授業ごとに習熟度別のクラスを作る

#### 自分の頭で考える・創造性を高めることについての意見

- ・受け身の授業ではなく、グループワークや個人研究も取り入れた授業展開。  
自分自身が興味をもっているトピック（STEAMや起業家精神など）に関して探究学習を行なったりする力が身に付く教育

### 4. 大学生・大学院生・専門学生等からの主な意見

#### 多様性の尊重に関する意見

- ・マイノリティの子どもも学校生活を送ることができること
- ・発達障害、グレーゾーンの子どもたちもその子にあった学習ができるような環境を整えるべき
- ・教室に行かなくても勉強ができる体制、教室に来られない生徒の学習を支援できる体制
- ・親の経済力が無くてもしっかりと教育が受けられる国になってほしい

#### 個々人の特性に応じた学び

- ・個人個人の性格や性質に合わせたカリキュラム
- ・学びたい人にはレベルの高い学びがスムーズに提供されていること

#### 社会との接点を持つことについての意見

- ・英語の能力。読み書きだけでなく、話したり聞いたりする能力も大切だと思う
- ・政治への関心を高めること。
- ・人間関係の築き方を学ぶこと
- ・自国を豊かにしようという意識が大切

#### 先生に関する意見

- ・教員数の増加、及び教員の質の向上

- ・教員は信頼できる大人であるという信頼関係がしっかり築くことができる環境づくり

## (2) (質問2) どんな先生に教わりたいですか。(自由記述)

### 1. 小学生からの主な意見

#### 日々の接し方

- ・差別しない先生、ひいきしない先生
- ・間違えた時に優しく指導してくれる先生
- ・ダメなことをしっかり注意して、楽しむ時は一緒に楽しむ先生

#### 授業の仕方

- ・楽しく教えてくれる先生
- ・授業に引き込まれるような魅力がある先生

### 2. 中学生からの主な意見

#### 日々の接し方

- ・先生によって態度を変えない先生
- ・わからないこと、相談したいことを親身に聞いてくれる先生
- ・威圧的ではない先生普段は話しやすいが、いざとなった時に助言してくれる先生

#### 授業の仕方

- ・先生自身の経験を交えてわかりやすく伝えようと努力してくださる先生
- ・電子黒板などのデバイスを使って授業をしてくれる先生

### 3. 高校生からの主な意見

#### 日々の接し方

- ・生徒のことを心から大切にしてくれる先生や、自分の成長を見守ってくれて、褒めたり励ましてくれる先生
- ・生徒を理不尽に叱らない先生
- ・話しかけやすい先生
- ・しっかり休みが取れていて余裕がある先生

#### 授業の仕方

- ・教えていて幸せそうな先生
- ・なぜそうなるのかを教えてくれる先生
- ・グループワークの授業が比較的多い先生
- ・わからない人の目線に立って教えてくれる先生
- ・生徒の意見を軽視せず、また必要あらば先生からも学べる先生

#### 先生の経験

- ・社会経験がある先生
- ・民間企業での金向け経験や企業経験のある社会を知っている経験豊かな先生

#### 4. 大学生・大学院生・専門学校生等からの主な意見

##### 日々の接し方

- ・子どもの気持ちを否定せず、受け止めたり話を聞いてくれる先生
- ・面倒見がよく、質問に対して真摯に返してくださる先生

##### 授業の仕方

- ・その分野について深い知見を持ち、自分自身も学びに真剣な先生
- ・飽きさせない授業をする先生

### (3) (質問3) 学校で幸せを感じる時はどんなときですか。(自由記述)

#### 1. 小学生からの主な意見

##### 友人関係

- ・友達と遊んで楽しい時
- ・友達やクラスメイトが自分を頼ってくれる時

##### 褒められた

- ・何か良いことをして先生にほめられた時

##### 成績がよかった・達成した

- ・わからなかったことがわかるようになった時
- ・テストの点数が良かった時
- ・行事などでみんなで一致団結して頑張った時。

##### 興味のある授業等

- ・図工や書道などの制作する授業
- ・給食の時間

#### 2. 中学生からの主な意見

##### 友人関係

- ・友達とコミュニケーションがうまく取れた時
- ・友達と休み時間などで話す時
- ・友達にありがとうなどと感謝の気持ちを言われた時

##### 褒められた

- ・先生がちゃんと話を聞いてくれて、褒められた時

##### 成績がよかった・達成した

- ・わからない問題が先生に質問しに行ったことでわかった時
- ・自分が勉強してきた成果がテストなどでハッキリと見えた時

- ・自分が活躍できている時や、誰かのために頑張れた時

#### 興味のある授業・楽しい授業

- ・総合的な学習の時間に教師の監督のもと自由に実験ができる時
- ・授業で知らない意見に出会った時

### 3. 高校生からの主な意見

#### 友人、先生との関係

- ・信頼する先生や友達と話している時や、一緒になにか活動をしている時
- ・学園祭や体育祭などの行事やその準備期間でクラスで協力している時
- ・放課後、友達と残って喋りながら課題をやっている時

#### 成績がよかった・達成した

- ・自分が評価されていると感じた時
- ・自分の個性を認めてもらえた時
- ・どんなに難しくても自分の頑張りが実り周りから声をかけてもらった時
- ・いい成績が取れて、自分の成長を感じた時
- ・自力での発見があった時

#### 興味のある授業

- ・学習や生活を通じて、学校の友達や先生方、地域の方などとの関わりを深め、コミュニティの幅を広げることができた時

### 4. 大学生・大学院生・専門学校生等からの主な意見

#### 友人、先生との関係

- ・行事と一緒に頑張った時や、何気ない日常生活の中で友達と話が盛り上がり距離が近くなったなど感じられた時など、その時しか経験することのできない学校生活を大好きな友達と共有することができた時
- ・少し気分が優れない時に先生や友人が声をかけてくれる時

#### 成績がよかった・達成した時

- ・部活動などで仲間と目標を達成出来た時

#### 興味のある授業

- ・実際に研究をしているその道のプロフェッショナルの話を直接聞いて、質問できたりする機会があるのも貴重な時間だと感じている
- ・研究のために書いたプログラムが動いて理想通りの結果が得られた時

# 生徒との対話実践報告

「次期教育振興基本計画の策定に向けた若手・中堅職員懇話会」の取り組みの一環として、令和4年12月に中学校・高等学校生徒との対話を実施しました。

「学びの意義」や「学校における学びで得たいこと」そこから考えられる「理想の学校像」について考えを深めてもらいました。以下、そこで出た意見の概要です。

# 京都教育大学附属高等学校生徒との対話から

- ・学ぶことの楽しみ方、楽しみながら学ぶ、楽しい学び
- ・好きなこと、興味のあることを深める学び、伸び伸びと好きなことを勉強したい、個性や特技、興味をより伸ばせるような自由な学び、学びたいことを自分から取り組んで学べる、自由な選択、文理とらわれない学び、興味のある科目・職種に特化した授業、やりたいことを認め、応援してくれる環境、やりたいことを伝えやすい環境
- ・学ぶ目的が得たい、自分のやりたいこと、夢や目的・目標、具体的で身近な目標を見つける、将来の夢を叶える、自分は何が一番興味があるのかを知る、得意なことを見つけない
- ・学びが将来に具体的にどうつながるのか実感したい
- ・新しい考え方、新しいことに挑戦する学び、触れたことのない分野に触れて興味を持つ、視野・興味を広げる、選択肢を増やす
- ・自己実現、なりたい自分になるため、幸せになる学び

- ・実践的・実用的な学び、自分のしたい仕事につながる学び
- ・将来必要なことだけ勉強したい
- ・社会に出たときに役立つ、つながる、通用する、必要な学び、技術・知識、社会に出ていく予行演習
- ・社会人として最低限必要な知識・考え方、常識、社会で自立していける学び、金融、助成金、土地、水道、ガス、法律、税金、お金を稼ぐときの立ち回り方、現実的なテーマについての探求
- ・社会のニーズ、社会に適した人材には何が必要か
- ・人に何かを伝える技術、人前で発表する力、自分の意見・考えを表現する、プレゼン力、メモ、コミュニケーション能力、世渡りの仕方、礼儀、集団生活・上下関係、最低限のマナー、期限を守る
- ・世界で通用する知識、グローバル化に対応
- ・社会についてもっと知る

- ・大学受験・進学、大学に行くにはどうすればいいか
- ・大学で何が学べるのか、大学について知る
- ・大学につながる学び
- ・職場体験、職業を知る
- ・人生における選択をどうするべきか





# 京都教育大学附属高等学校生徒との対話から

- ・人生に活かせる考え方、これからの人生の基礎となる学び、教科にない学び
- ・友達や人間関係についての学び、人との協力、交友関係
- ・自主性・自立性(自律性)、協調性、主体性、社会性、積極性、道徳、統率力、責任、心の成長
- ・多角的にもものを見る力、自分で考える力、探究する力、思考力
- ・思いもよらない課題に直面したときに乗り越える力、自分で考え問いを立て疑問を持ち最善な答えを見つける学び、問題解決のための学び、自分の立てた目標を実現するためのプロセスを自分で見つけ出し、実現する力、他人と協力して答えを導く力、計画的に物事を進めること、行動力、自分で判断して自分で行動できる力
- ・社会をどう生き抜いていくか、生きていく力、生き残っていくための力
- ・これからの社会、具体的な未来を考える学び、どんな大人であるべきか、社会貢献できるには何が必要か
- ・アイデンティティの確立

- ・テスト中心でない評価
- ・順序だった学修
- ・タブレット端末の活用
- ・グループ活動、聴くだけではない授業、学校外との交流(海外、他校)、他の高校との共同学習、他者との交流、課題を班で解決、生徒が参加する授業、眠くならない授業
- ・優れた先生の指導、先生に質問できる
- ・深い学び、教科書での学びを深める学び、発展的な内容、主体性、自立性が試される学び
- ・明るい雰囲気の授業
- ・生徒主体の学校、生徒ファースト
- ・図書館の充実
- ・学んだことを活かす、アウトプットする場
- ・芸術の才能を伸ばす
- ・色々な地域の魅力の共有
- ・教えるスキルの獲得

- ・人生の大きな目的を見出し、達成するための基礎学力、基本的な学び
- ・専門的なことも知りたい
- ・教養、政治思想
- ・勉強の習慣化
- ・効率的な学び方
- ・高校生の今しか味わえない経験
- ・体験型の学び、試行錯誤してたくさん失敗する、失敗して学ぶ、ボランティア活動
- ・人とのつながりを広げる
- ・成功体験(テストなど)、成長した証を数字で見ることが  
できる、努力が結果として現れる学び、自分の成長を感じられる学び
- ・切磋琢磨



# 鹿児島県鹿屋市立鹿屋中学校生徒との対話から

- ・楽しさ、やりがい、目標をもつ
- ・今楽しめる学びが必要
- ・社会を生き抜くために大切な学力と重要とされない学力がある
- ・テストでいい点をとっても、上手く活用できないと意味がない
- ・将来必要になること、役立つこと、将来を豊かにする
- ・夢を叶える、自分の具体的な目標に向かって、自分のやりたい仕事につける、進学に向けた勉強の仕方を学ぶ
- ・自分の考えを自信をもって伝えられる学校、誰もが発言しやすい授業、自信を持ち発表・発言しやすい空気・雰囲気
- ・どんどん間違えてもいい、正解をなくしてほしい
- ・積極的な学び
- ・説明する力を身につける、自分を表現する、人前で意見を発表する機会
- ・もっと学びあいを
- ・授業以外の活動で学んだことも表現力などにつながる
- ・コミュニケーション能力
- ・誰一人取り残さない学び、全員成長、一人一人が幸せになるために学ぶ
- ・人間として生きるために学ぶ
- ・生徒が授業をつくる、主体的に授業改善
- ・難しい問題を今まで習ったことを活用して解くことが好き、成功体験
- ・1つの問題についても色々な意見・考えが深まる授業
- ・自分で考える時間
- ・一人一人の意識を変える必要
- ・タブレットの有効活用
- ・学ぶ意味を理解する、なぜ学ぶのか考える機会

